

「Unit6 オーストラリアの兄」

しゃべくり37 ～Who is today's guest?～

本題材で育成する資質・能力

(教科) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話す力
 (学校) 表現力、コミュニケーション能力、主体性

- 1 日時 平成29年11月17日 10:50～11:40
- 2 学年 第1学年3組 (男子18名 女子19名 合計37名)
- 3 場所 英語教室
- 4 単元について

- 本単元は、咲がスピーチでオーストラリアにいる兄について生活ぶりを紹介し、その内容について友達が質問したり、対話をしたりする、という展開になっている。言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文などを扱う。いずれも、第三者を紹介する場面で必ず用いられる文法事項であり、生徒にも自分の知っている人について紹介したり、互いにたずねたりするなどのコミュニケーション活動を行うのに適した単元である。生徒はこれまで小学校外国語活動、中学校での既習内容から、自己紹介については多く経験してきており、他者紹介のスキルを身につけることで、表現の幅が大きく広がっていく重要な場面であると考えられる。

- 本学級の生徒は、英語学習に関するアンケートで次のように答えている。

英語の勉強は好きです。	肯定的回答 79%
英語は必要だと思います。	肯定的回答 97%
ペアやグループなどで活動を行うことが好きです。	肯定的回答 88%
英語の授業では自分のことや気持ちなどを英語で話しています。	肯定的回答 83%
小学校での英語活動が中学校での英語学習につながっていると思います。	肯定的回答 97%

以上の結果から、本学級の生徒は英語の必要性を感じ、小学校外国語活動から中学校の教科としての英語への接続も自然にできていると考える。音読練習の際もしっかり声を出し、ペアやグループでのコミュニケーション活動も積極的に行うことができる。また、自己表現活動にも意欲をもって取り組むことができる。しかし、英語の勉強が好きだと答えた生徒の肯定的回答の割合は他の回答に比べて低いことから、英語に対して苦手意識を持っている生徒も多いことがわかる。その原因として、書くことの難しさが考えられるが、まずは英語でコミュニケーションをとる楽しさを実感させ、少しずつ書くことにも慣れさせていきたい。

- 本校のCAN-DOリスト1年2学期「話すこと」の学習到達目標③は「第三者のことを5文以上で紹介するスピーチができる」であり、「聞くこと」の学習到達目標①は「聞いた内容について質疑応答できる」である。これらのことをふまえて、自分の好きな有名人について対話を続けるというタスクを示し、ペアの相手をどんどん変えながら対話をさせる。相手を変えることで、対話の内容が変わり、相手の発言を受けて応答する即興的な力が求められる場面を経験させたい。その中で、生徒が自分の知っていることや思いを他者に伝え、共有し、つながりあう、意味のある言語活動にしていく。評価については、コミュニケーションの場面なので、形式の完全さだけにこだわらず、伝えようとする意欲や態度を重視したい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科、領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を、自分のことばで、表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、自分のことばで、表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で、表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら、相手の意図や要点を整理しながら、聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら、訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。
		聞いて質問することができる。 （やりとり1回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ、内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）
意欲・態度	主体性	課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで、取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで、取り組もうとしている。

6 目標

- 自分と相手以外の人について話したり、たずねたりすることができる。

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。	・自分と相手以外の人について話すことができる。 ・自分と相手以外の人についてたずねたり、答えたりすることができる。	・自分と相手以外の人についての紹介や対話を聞いて、その情報を聞きとることができる。 ・自分と相手以外の人についての文の内容を読みとることができる。	・三人称単数現在形（肯定文・疑問文・否定文）の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

8 指導計画（全10時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関	表	理	知		資質・能力（評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い） 自分の好きな有名人やキャラクターについての会話を深めるにはどうすればよいか。								
課題の設定	1	・三人称単数現在形肯定文の用法理解（1時間）				◎	◎三人称単数現在形の形・意味・用法に関する知識を身につけている。	
情報収集	2	・三人称単数現在形肯定文の用法理解（1時間）		○			○自分と相手以外の人について話すことができる。	【コミュニケーション能力】（活動の観察・ワークシート）
		・本文理解（1時間）			◎		◎自分と相手以外の人を紹介文を理解することができる。	
	3	・三人称単数現在形疑問文の用法理解（1時間）		○		◎	◎三人称単数現在形の疑問文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ○自分と相手以外の人についてたずねたり，答えたりすることができる。	【コミュニケーション能力】（活動の観察・ワークシート）
		・本文理解（1時間）			◎		◎自分と相手以外の人についての対話を理解することができる。	
	4	・三人称単数現在形否定文の用法（1時間）		○		◎	◎三人称単数現在形の否定文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ○自分と相手以外の人について話すことができる。	【コミュニケーション能力】（活動の観察・ワークシート）
		・本文理解（1時間）			◎		◎自分と相手以外の人についての対話を理解することができる。	
整理・分析	4	・三人称単数現在形の形・意味・用法の確認（1時間）				◎	◎三人称単数現在形の形・意味・用法について復習し，理解を確かめる。	
まとめ・創造・表現	5	・自分と相手以外の人について紹介文を書く活動（1時間）	○	◎			◎自分と相手以外の人について紹介文を書くことができる。 ○間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。	【表現力】（ワークシート）
実行・振り返り	6	・自分と相手以外の人について話したり，たずねたりする活動（1時間） 【本時1／1】	○	◎			◎自分と相手以外の人について話すやりとりができる。 ○間違いを恐れず，積極的に話そうとしている。	【主体性】（活動の観察） 【コミュニケーション能力】（後日インタビューテスト）
エピローグ（単元を貫く問いの解決） 相手に興味を持たせる情報の提示や反応言葉の使用による会話の質の向上								

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○相手からの質問に対して適切に答えることができる。

(2) 本時の評価規準

・相手からの質問に対して追加説明を加えたり，反応言葉を使ったりしながら適切に答えることができる。

具体例 ① A: Does he live in Tokyo? B: I don't know. But he's from Osaka.

② B: He speaks English. A: Oh, really?

・間違いを恐れず，積極的に話し会話を続けようとしている。

(3) 準備物

テレビ コンピューター 英文カード ワークシート 振り返りシート

(4) 学習の流れ (10時間目/全10時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 (評価方法)
1 既習事項の確認とねらいの確認 [5分]		
<p>1 あいさつ Chat Time ・ペアでのやりとり</p> <p>2 既習事項の確認 ・ペアでのやりとりを基にして三人称単数現在形の形を確認する。 ・全体での口頭練習</p> <p>・ねらいの確認</p>	<p>◇英語を話しやすい雰囲気をつくる。 ◇教師と生徒，生徒同士のペアで会話をし，英語のやりとりに慣れさせる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">S: My partner is ○○. He/She likes ~. T: Does he/she like ~, too? S: Yes, he/she does. / No, he/she doesn't. / I don't know.</p> <p>◆自分たちのチャットから，三人称単数現在形の形をぬきだすことで，本時の活動をイメージしやすくする。</p>	
<p>ねらい 相手からの質問に対して適切に答えることができる。</p>		
2 本時の課題を設定する。 [10分]		
<p>3 課題意識をもつ ・今日のゲストとして，画面に顔のわからないイラストを提示し，教師のヒントから誰か考える。</p> <p>・クイズの2問目は，生徒からの質問に答えることで情報を伝える。</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">T: Today's guest is a man. ①He lives in Japan. ②He's 44 years old. ③He likes ampan and Justin Bieber. ④He has yellow shirts and pants. He has an apple and a pen. Who is he? S: He's Pikotaro. T: That's right.</p> <p>◆画面にヒントやゲストの写真やイラストを提示する。</p> <p>◇1人目のゲストの紹介文を1文ずつ取り上げ，それに対応する質問文を確認する。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> 学習課題の提示 <p>今日は自分の好きな有名人やキャラクターが自分のゲストになることを伝える。</p>	<p>①Does he live in Japan? ②How old is he? ③What does he like? ④What does he have?</p> <p>◇①～④の質問に教師が答えることで、2問目の人物が誰か推測させる。</p>
	<p>学習課題 しゃべくり37 ～Who is today's guest?～</p>

3 情報を整理・分析し、課題解決をする。[30分]

<p>4 ペアでクイズを出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話モデルとなるワークシートを配布して、英文の確認をする。 <p>・ペアの相手を変えながらクイズを出し合う。</p>	<p>◇英語でやりとりを行うことを伝え、必要な表現を確認する。</p> <p>◆初めに、となりペアでモデル対話にそって会話をする。</p>
---	---

<p>会話例 1</p> <p>A: Hello. I have a guest today. Who is he? B: Is he real? A: Yes, he is. B: Does he live in Japan? A: No, he doesn't. B: How old is he? A: He's 44 years old. B: What does he like? A: He likes baseball. B: What does he play? A: He plays baseball. B: Is he Ichiro? A: That's right.</p>

<p>5 会話をより自然につなげていくための表現をつけたす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話例1の英文を提示し、付け足せる追加説明や反応言葉を考える。 	<p>会話例 2 (修正後)</p> <p>A: Hello. I have a guest today. Who is he? A: Yes, he is. A: No, he doesn't. <u>He lives in America.</u> (追加説明) <u>And he's from Aichi.</u> (追加説明)</p> <p>B: <u>Oh, I see.</u> (反応言葉) How old is he? A: He's 44 years old. B: What does he like? A: He likes baseball. B: What does he play? A: He plays baseball. <u>He plays baseball very well.</u> (追加説明)</p> <p>B: <u>Oh, really?</u> (反応言葉) Is he Ichiro? A: That's right.</p>
--	--

<p>・再度ペアの相手を変えながら会話をする。</p> <p>6 4人グループをつくる。各グループごとに新しい人物の情報カードを配布する。</p> <p>・グループで英文を確認する。他に知っていることがあれば付け加えてもよい。</p> <p>・新しいペアを作り、カードの情報をもとにクイズを出し合う。</p>	<p>◆活動中英語を話そうとしているか確認し、必要に応じて支援する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">写真 イラスト</div> <p style="margin-left: 20px;">Information 名前 フグ田サザエ 職業 主婦 (housewife) 住んでいるところ 東京 年齢 24歳 好きなこと 料理 買い物 するスポーツ ? だが速く (fast) 走る *弟と妹がいる 猫を飼っている</p> </div> <p>◇再度、質問に答えるだけでなく、知っている情報を付け足すことや反応言葉を使用することを確認する。</p>	<p>★主体性（活動の観察）</p> <p>★コミュニケーション能力（後日インタビューテスト）</p>
<p>5 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]</p>		
<p>7 本時を振り返り、次時につなげる。</p>		<p>★主体性（振り返りシート）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>生徒のまとめ例</p> <p>・たくさんの人に、自分の好きな人について紹介することができた。質問に答えるだけでなく、知っていることを付け加えたり、反応する言葉を言ったりすることで会話がつながっていくことがわかった。</p> </div>

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	<p>自分の知っている人物についての質問に適切に答えられる。また、答えに説明を加えたり、反応言葉を使用しながら会話を続けることができる。</p> <p>例 自分がBの立場のとき</p> <p>A: Does he live in Japan? B: No, he doesn't <u>He lives in America.</u></p> <p>A: What does he play? B: He plays baseball. <u>He plays baseball very well.</u></p> <p>自分がAの立場のとき</p> <p>A: Does he live in Japan? B: No, he doesn't He lives in America.</p> <p>A: <u>Oh, really. / I see.</u></p>
B（合格）	<p>自分の知っている人物についての質問に適切に答えられる。</p> <p>例 A: Does he live in Japan? B: No, he doesn't.</p> <p>A: What does he play? B: He plays baseball.</p>

C (乗り越えさせた 実態)	<p>自分の知っている人物についての質問に適切に答えられていない。(単語で伝えている。)</p> <p>例 A: Does he live in Japan? B: No. A: What does he play? B: Baseball.</p>
-------------------	---

(5) 板書計画

Today's Goal	自分の知っている人物を話題にし、会話を続けることができる。	
Today's Task	しゃべくり37～Who is today's guest?～	
Friday November seventeenth	<div data-bbox="395 571 667 705" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>番組をイメージするイラスト</p> </div>	<div data-bbox="865 560 1311 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>会話例 修正したもの</p> </div>
Sunny	<div data-bbox="379 734 774 884" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>三人称単数現在形を確認する例文</p> </div>	